2023-2024　　ROTARY　INTERNATIONAL　DISTRICT 2650　　2023.10.29　　No.2683

RI テーマ

世界に希望を生み出そう

TAKEFU WEEKLY

創　立／1954 年（昭和 29 年）6 月 30 日　　例会日／毎週火曜日　　例会場／武生商工会館

事務局／〒915-8522　越前市塚町 101　武生商工会館内　　会　長／宮本　　俊　　幹　事／橋本　勝利

TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333　E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp　　会報委員長／鎌谷　孝之

第 3268 回　例 会 記 録　令和 5 年 10 月 26 日(木)

本日出席会員　32 名

メークアップ(前々回)　2 名

出席率(前々回補正)　84.78%

会員総数 46名

「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト　第 2650 地区ガバナー　中野博美氏

ガバナー補佐　山形　晃氏

第 2650 地区幹事長　三好正晃氏

歓 迎 の 言 葉　　会長　宮本　俊

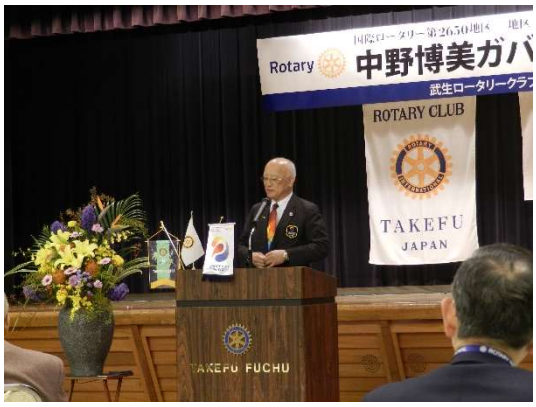
本日はお忙しいところ、越前市にご来場を賜り、誠にありがとうございます。会員一同、心より歓迎を申し上げるところでございます。

さてこの越前市、秋の風物詩と申しまして、現在、菊人形を開催しております。大阪の枚方で無くなってしまったということで、日本海側の唯一の菊人形です。また越前市の 3 大グルメがありまして、発祥の地であるとも言われております越前おろしそば、中華そば、オムライスの上にとんかつがのっているボルガライスがあります。この 3 つを含めて 3 大グルメと言われておりますので、ぜひともお試しをいただけたらなという風に思っているところでございます。いずれにしましても、本日アドレスもございます。色々な勉強をさせていただく中、いい時間にさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。また本日、この会場の設営など、受け入れのために準備していただきました丸岡会長を始めとします 武生府中ロータリーの皆様にも感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

プログラム

ガバナーアドレス

第 2650 地区ガバナー　中野博美氏



国際ロータリー2650 地区 2023～24 年度ガバナー中野博美と申します。皆さん、改めましてこんにちは。皆さんもご存知のことと思いますが、ガバナーは、地区で唯一の RI の役員であります。そしてその仕事は、あらゆるテーマ、方針、あるいは各種のアナウンスメントを地区に伝えること、そして、そのテーマに従って、地区の方針を定め、各クラブさんにお伝えすること、加えて、各クラブさんがクラブの運営あるいは公式事業等で何かご相談ごとを欲しい時は、お伺いし十分に支援をさせていただくことであります。今年の RI 会長のゴードン R.マッキナリーさんは、スコットランドご出身の口腔外科の先生であります。非常に背の高い方です。スコットランドの芸術家の方にテーマネクタイのデザインの依頼をされました。スコットランドの芸術家がネクタイをデザインすると、大体こんな色合いになるらしいです。こんな感じですね。私も図々しい方ではありますが、なかなかこれを街中に着用していく勇気はありません。毎年ではありませんが、ネクタイの、その意味合いと言いますか、そういうものが発表されているようでありますが、今年発表はありませんでした。私などが邪推いたしますと、曇天の多いスコットランドの芸術家がデザインをすると、こんな、やっぱりこう、いろんな色が使われる色になるのでありましょうか。

あるいは、少し前から RI が言っております多様性、そういうものを、いろんな色を取り入れてっていうところに表現をしているのかもしれません。ま、いずれにしましても、お醤油を落としてもわかりません・・・笑うとこですよ。ゴードン R.マッキナリー会長は、テーマアドレスを本会議でされました。

まず最初におっしゃいましたのが、フォース鉄道橋という話をされました。フォース鉄道橋と言いますのはスコットランドのエジンバラから海に注いでいるフォース川というのがありまして、そのフォース川にかかる鉄道の鉄橋のことです。1890 年、今から 130 年前にフォース鉄道橋は作られました。そして、その両岸の物流の交換、あるいは人的交流、あるいは文化の交流が地域社会の役に立つであろうという考えのもとに作られました。そして、130 年経ってからの今でも地域社会に対して便益を与え続けている、ということをおっしゃいました。これはロータリー特有と言いますか、ロータリーの、得意なビジョンに基づく行動とそのインパクトということを、表現されようとしておるわけですね。 そして、次におっしゃいましたのが、事業の継続性を考えてほしい、優れたリーダー、 良いアイデアはぜひ継続をしてほしいということをおっしゃいました。

次におっしゃいましたのは、ロータリー、ローターアクトの関係であります。ロータリーは十分に今までローターアクト支援をしてきた、そして、ローターアクトはそれを受けて十分に成長して、ロータリーと協力をして事業できるほどになった、ぜひ ロータリーとローターアクトが共同し、ロータリーの事業を大きくしてほしいと言われます。次に言われましたのが、女児へのエンパワーメントであります。世界的にはまだまだ女子の、女性の活躍できる場が少ない。能力を持った女性がのびのびと活躍できるように、ぜひ小さいうちから支援をし、能力を伸ばしてやっていただきたい。そして、次に言われましたのが、DEI あります。なかなか耳に見染まないっていう方もいらっしゃるかもしれませんが、多様性、公平さ、公設性と訳すのでしょうか、ぜひロータリーに多様な人材、多様なアイデア、多様なパートナーシップを取り入れて、ロータリーを大きく育ててほしい。グローロータリーという言い方をされました。次に言われましたのが、ポリオです。 ポリオはいろんなパートナーシップを組みました。

国連、WHO、ユニセフ、 各国の首脳であり経済、そして 99.9 パーセント根絶に近づいていくという風に理解をしておりましたところ、ここに来て、アフガニスタンと、パキスタンで、野生株の後発例がいくつか発生しているという感じでありましたが、マッキナリー会長は、違います、いや、これはかえってアナウンス効果を生んでいる、ロータリーがポリオ根絶の事業ずっとやり続けていたのだということがかえって注目を浴びているという風におっしゃいました。もしポリオが根絶させる、されるということが現実となれば、ロータリーは歴史的な賞賛をあびるだろうとおっしゃっております。

そして、次におっしゃったのは、独自のメンタルヘルスであります。少し長めに弟さんのご不幸の話をされましたが、ぜひメンタルヘルスの継続をしていってほしいとおっしゃいます。と言いますのは、今は歴史的なタイミングであるという風にマッキナリー会長は言われます。それは、ロシアのウクライナ侵攻によって多くの命が奪われ、そして歴史的な建造物を始め大切なものが大量に壊され、世界の平和は脅かされている。それに、コロナパンデミックにより、また多くの命を失い、何より社会が分断され、皆さんの心の中の平和が脅かされているという風におっしゃいました。なんとかしなくちゃいけない。ロータリーは今までも歴史の要請に対して十分に答えてきたという経緯がある。なんとかしなくちゃいけない。これは、然るべき運命を切り開くには、ロータリーは常に進化をし、時には革新的でなくてはいけないというポールハリスの言葉を思い浮かべるべきところであります。そしてマッキナリー会長は、色々な手法を使い、最終的に 1 つの、結論を導き出しました。これは、平和の推進とメンタルヘルスの取り扱いということであります。次に会長がおっしゃったのは希望であります。2006 年、タイに行かれた時に 1 人の女性に合ったという風におっしゃいます。その女性は貝殻を持っていました。この女性は、2004 年の南アジアを襲った大津波、それで夫を失い、長男を失い、長女を失い、家が流され、もう家財道具全てを失っている。ほとんど 生きる希望を失っていたとおっしゃいます。ただ、地域で避難所を作り、病院を作り、小学校を作り、地域社会が支援をしているロータリーを見たとき、少しだけ生きる希望が湧いてきたと言って、その貝殻、

美しい貝殻という表現でありますが、たった 1 つ残った財産である、大切にしていたその美しい貝殻をマッキナリー会長にプレゼントしてきたということでありまして、ありがとう。 それを見て会長は、そうだ、希望だと。平和であるということは希望の土壌だ、 ぜひ皆で平和を取り戻し、世界に希望を生み出そうというテーマであります。世界の希望を生み出そう！クリエイティホープインザワールドを受けまして、地区のテーマを「個性、基本、求心力」とさせていただきました。個性は美しいと思います。おそらく、どのロータリークラブ、その設立、創立の時点においては、地域の文化、歴史、人物、環境等、特色のある理念が最初にあり、それに向かって結集をし、発展をし、成長をしてこられたはずであります。ぜひ、そういう個性、大切に豊かに伸ばしていただきたいと思います。基本、日本のロータリーは、例会出席と職業奉仕を大切にしてきたと先輩からは伺っております。

ところが、最近、アメリカ RI 方面から聞こえてきますのは、柔軟性をはじめ、何やら枠組みが少し緩くなったような、感覚を受けるという方も多いのではないでしょうか。ある先輩のパストガバナーがおっしゃいました。先日、ボストンのクラブに行ってきました。ボストンのクラブは 昔は会員が 400 人以上いて、格式のある凛々しいクラブでした。先日行った時に例会に出席し、出席をしたら会員数は 16 人だったとおっしゃいました。私などは、400 人以上いたクラブが 16 人しか会員がいないっていうのはどういうことかと思うわけでありますが、地域社会に変化が起きているという表現であります。地域社会の変化に対して、ロータリーが追いつけない、シカゴも似たような感じらしいです。よくわかりませんが、先進諸国が全て減っているということであります。よくわかりませんが、我々、日本のロータリーが大切にしてきました中核的価値観等、変えてはいけないものという基本がある一方、環境の変化、あるいは社会の、地域社会の変化等にて変わっていかなくちゃいけない、あぁならないっていう部分も基本として考えなくてはいけないのかもしれません。両方合わしていくよう考えたいと思います。求心力。わかりにくいと評判ではありますが、求心力の話をする時に、私はお祭りの話をするという習性がありまして、20 年ほど前に 地域社会を勉強したいと思うことがあり、懇意にしていただいています宗教学の先生に、電話をし、地域社会を勉強するにはどうしたらいいでしょう。という風にお伺いをしました。それなら柳田国男をお読みなさい。民族学の柳田国男ですね。筑間書房から全集が出ております。全 33 巻、手に入れまして、本当にこう並べますと、もう 1.5 メートルぐらいあるんですね。残念ながら全部をつぶすには至っておりませんが、中でも若干心を持ちましたのは、お祭り及びその周辺の書き込みであります。柳田先生によりますと、お祭りっていうのは、 祭りに丁寧語も「お」がついたのではなく、大祭り、年に 1 度の開催である。訓読みの大祭りがだんだん訛ってお祭りになったと言われます。

ちなみに「お」のつかない祭りは神事、行事、長い話は全部省略いたしますが、近代行政以前、お祭りというのは地域の自治システムであり、教育システムであったと柳田国男先生は言われます。

古来、人々はお祭りという事業を通して、地域社会の求心力を向上させる努力をし、団結の要にしたということであります。なんでもいいのかもしれませんが、地域住民あるいは関係者、その人のできる範囲で、全員が地域を掌握するために良いことをするということになりましょうか。ロータリー的に言いますと、それぞれが役割を分担し、地域社会を良くするための事業を皆で考えるということになりましょうか。ぜひ、個性を豊かに伸ばしていただいて、基本を踏まえ、求心力を高めて、活力と希望、活力と輝きのある希望を作っていただきたいと思います。

それから、継続性の話でありますが、この 3、4 年の間に、千玄室大宗匠にスリーH プログラムっていうのを何回も教えていただきました。ヒューマニティー・ヘルス・ハンガーの 3H でありますが、

【ヒューマニティ】平和の推進とか、戦争放棄等々でありますが、これは、私は、教育、ある程度、可能性が残されているのではないかという風に思います。懐疑があるかもしれませんが、よく使われる、統計調査で、アメリカと日本の平均寿命の比較っていうのがありまして、日本は、先進諸国の中で、平均寿命、ま、合わせて、健康寿命トップクラスであります。アメリカは、最低ランク 32 位。全国民を所得、年収の順にソーティングをし直しまして、並べ替えまして、上から 5000 万人に比べると、両国と同じであります。所得と教育水準っていうのは、家庭

の教育水準っていうのは、強い相関を持っておりますので、教育水準の伴わない人は、アメリカの平均値を下げているという結論になるという表現であります。

【ヘルス】40 年前、ロータリーがポリオ根絶の意志を持った時に、当時、ウクロ、アジア西太平洋 WHO 事務局マニュアルですが、そこの事務局長を尾身茂先生がしておられます。千玄室大宗匠が尾身先生にこれを根絶しようとロータリーが考えているとお伝えされると、尾身先生が、それはありがたい、まだ東南アジアで結構流行っていました、そして素晴らしいことです。 しばらくしてから、尾身先生が少ししてまた別の感染症がやってくることを危惧していますとおっしゃったようであります。まあ、この 20 年を見ましても、SARS から始まって 4、5 年おきにやってきていますね。今回のものが、それに当たるかどうかっていうのはあれですが、多分、RI は、2026 年にポリオ根絶の予定をしております。当たるかどうかわかりませんが、おそらく 近いうちに、ポリオは根絶に至ると思いますが、ポリオは、もし根絶に至ったとしても、ロータリーのヘルスに対する使命というのは、それ以降も続いていくものと考えております。

【ハンガー】地球の人口は 80 億を超えました。クワンガで世界中のワクチンを開発しています。アフリカ、南アメリカ、中国、アジアですね。で、今まで空白地というか、干渉地域として残されていたところまで開発をするものですので、部族間紛争あるいは国家間紛争等が頻発しています。一方で有り、一方では足りない。何かうまいこと フードサイクルと言いますか、そういうものはできないのでありましょうか 多分この 3H プログラムが発展をし、細分化されて重点分野へと進んでいると思われますが、3H を見てみますと、それぞれが相互に関係し合っているっていうよくわかります。おそらく千玄室大宗匠はこの細分化されたカテゴリーのクライテリアを満足させることも大切であるだろう。全体の最適と言いますか、社会は全体の最適化を求めているのだということを大事していただいたのではないかっていう風に思っております。ぜひ、世界、そして地域社会、あるいは皆さんの心の中に持続的な良い変化が起こるような奉仕事業を続けてまいりたいと考えます。先ほどアナウンスをいただきましたから、ここから先は宣伝であります。

来年の、4 月 6 日、7 日、京都の宝ヶ池国際会議場およびプリンスホテルで、地区大会を開催します。 シンプルを旨としておりまして、式典、千玄室大宗匠の 1 時間の御講話、懇親会、これだけであります。会員のための、会員による懇親会。ですので、ぜひ、大勢のご参加をということでありますが、京都で行いますので、十分に和風のお花は用意をさせていただいておりますので、鑑賞にも耐えうるかと思います。ぜひ、大勢様のご参加をお願いしたいと思います。この宣伝も込めまして、私のガバナーアドレスとさせていただきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコ箱・・・60,000 円　累計　　603,840 円

・国際ロータリー第 2650 地区　武生府中 RC、武生 RC 合同例会訪問を自祝して
【中野博美ガバナー】【山形　晃ガバナー補佐】
【三好正晃幹事長】

中野博美ガバナーの公式訪問に敬意を表しまして、出席者全員からいただきました。

本日(10 月 29 日)の例会	11 月 7 日	11 月 14 日	11 月 21 日
移動例会/社会奉仕 パラダイス農園 支援整備事業 8：20～	第一例会行事 ロータリー財団 新入会員卓話　石塚会員	移動例会/職業奉仕 越前たけふ駅視察 11：45～	インターアクト 夏期研修報告 武生東高校 IAC